

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道45号 大船渡三陸道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省	東北地方整備局
起終点 自：岩手県大船渡市大船渡町下船渡 至：岩手県大船渡市三陸町越喜来		延長	17.6km
事業概要 三陸縦貫自動車道は、仙台市から岩手県宮古市に計画された延長約220kmの国道45号の自動車専用道路である。大船渡三陸道路は、三陸縦貫自動車道の一部区間を形成する事業であり、三陸沿岸地域の交流促進、国道45号の交通混雑の緩和、交通隘路区間の解消を目的としている。			
昭和58年度事業化	都市計画区域外	昭和59年度用地着手	昭和60年度工事着手
全体事業費	約940億円	事業進捗率	75% 供用済延長 8.7km
計画交通量	10,800台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 3.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 258/1,259億円 事業費:172/1,173億円 維持管理費: 86/ 86億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 993/1,604億円 走行時間短縮便益: 818/1,332億円 走行費用減少便益: 140/ 223億円 交通事故減少便益: 35/ 49億円
事業の効果等 ・地域間交流の支援（日常活動圏中心都市である大船渡市へのアクセス性が向上） ・救急医療の支援（「県立大船渡病院」へのアクセス性が向上し「60分圏域」が大きく拡大）他12項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 大船渡三陸道路は、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、大船渡市長をはじめとする関係6市6町7村の首長で構成される「三陸地区国道協議会」より早期整備の要望(H15年11月4日)を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 【執行済み額】 事業費：700億円(進捗率 75% [暫定95%]) うち用地費：110億円(進捗率100%)			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 移転対象物件の移転先確保に時間を要していたが、現在は事業進捗に係る問題は解消しており、大船渡南IC～大船渡IC間を平成16年度の供用を目標に事業推進を図る。			
施設の構造や工法の変更等 橋台、函渠等の2車線施工により初期投資の削減を図っている。			
対応方針 事業継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。